学校番号	315

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	ウェルビーイングにつなぐ家庭基礎						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・製作物は最後までやり遂げ完成させてください。
・授業のプリントは、ファイルに挟み、授業の板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたことクラスメイトの発言した内容などを欄外に記入していきましょう。
・「課題を理解する→実生活で行かせることはないか構想する→実践してみる→実践した内容を振り返り改善点を考える」といった一連の過程で自分の考えを発表したり議論したりする家庭科的な活動を行います。

2　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3)様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	A編　第1章　青年期の自立と家族・家庭	1. 自立への一歩をふみだそう	a. 自立した生活を営むために，生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解することができる。 b.生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し，歩みたい人生の目標を描くことができる。	定期考査 ワークシート	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
		2. 家族･家庭って何？ 3. 将来の自分と家族を創造しよう	a. さまざまな生き方について理解し、よりよい家庭生活を実現するために，家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解することができる。また、社会制度としての家族や家族と法律を理解することができる。 ｂ. 学習したさまざまな生き方や家族についての法律と関連付けて生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができる。 ｃ. 誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるにはどのような社会を実現すればよいか，考えて実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	第2章　子どもの生活と保育	1子どもはどう生まれ育つ 2子ども生活にどうかかわる？	a. 命に対する責任や，社会の一員として次世代を育む責任を持つために，性と生殖に関する健康について理解し、子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために，子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解することができる。 b. 子どもの生まれつき持っている能力や心身の発達について理解を深め、子どもとかかわることにおいて大事になることを考察することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第2章　子どもの生活と保育	3子育て社会の課題とは？	a. 子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために，子どもの生活習慣や衣食住について理解し、社会全体で子育てを支援していくために，現代の子育て環境の変化や課題について理解することができる。 b. 子どもにとって良い環境で育つためには何が必要か問題を考察することができる。 ｃ. 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか，考えて実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第3章　高齢期の生活と福祉	1高齢期ってどういう時期？ 2高齢化する日本を生きる	a:超高齢社会の背景を理解し、加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解することができる。 b. 高齢者が生きがいを持って生活するためには，家族や地域によるどのような支援が必要か高齢期を支える社会の仕組みや課題について考えることができる。 c. 高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考え活用しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第4章　共生社会と福祉	1共生って何だろう？ 2ともに支え合う社会とは	a.　誰もが生涯を通して自分の力を生かし，必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて，家族・家庭生活を支える福祉について理解するし、国・地方公共団体の制度などの支援体制，支え合いの構造について理解することができる。 b.　学習した内容を関連付けて身近な生活ではどのようなものがあるか考察することができる。 c.　c. 私たちが多様性を発揮して共に豊かに暮らせる社会に向けて，個人や地域はどのような役割を果たし，つながっていけばよいか，考えて実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ホームプロジェクト		b.ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解し、考察することができる。 c.自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し，解決方法を考え，計画を立てて実践しようとすることができる。		ワークシート	ワークシート 振り返りシート
2学期	B編 第1章 食生活と健康	1. なぜ食べるのだろう? 2. 私たちは何を食べている?	a:食生活の課題や食事の意義，食生活を取り巻く環境の変化などを理解し、自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるための栄養素や食品についての機能や特性を理解することができる。 b.自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために，栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について，科学的な理解を深め考察することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	
		3. 食品を選ぼう 4. 生涯の健康を見通した食事計画	a.安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方，保存や加工の方法，食中毒や食物アレルギー，安全を確保するための仕組みに関する知識を身につけることができる。 b.安全性や衛生面について理解を深め、考察することができる。 C.学習した内容と関連付けて「健康によい，栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		4. 今と未来の体をつくろう	a.食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために，調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉えることができる。 b.食生活の自立に必要な調理の知識と技術を考察することができる。 c. 配膳やマナーに関心を持ちながら食生活の自立に必要な調理の知識と技術を実践しようとしている。	定期考査 ワークシート 実習レポート	定期考査 ワークシート 実習レポート	実習レポート 実習態度 振り返りシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第2章 衣生活と健康	1. 衣服の役割って何だろう？ 2. 衣服はどうやってつくられている？	a 私たちが被服を着用するに至った，社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解し、用途に合った着装を実践できる力や被服表示を参考にして目的に応じた着装について考える力を身につけるために被服の役割や被服材料の性能や加工について理解することができる。 b.学習した内容と関連付けて日々の生活の着装について考察することができる。 c.実生活において被服の着装について調べることができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
		3. 衣服の計画・管理を知ろう	a. 手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう，実践できる力を身につけるために，被服の洗濯や保管方法を科学的に理解することができる。 b. 学習した内容を実生活で生かせるよう被服の洗濯や保管方法を科学的に考察することができる。 c.実生活において学習した内容をふまえて被服の洗濯や保管に活用しようとしている。	定期考査 ワークシート 実験レポート	定期考査 ワークシート 実験レポート	ワークシート 振り返りシート
		4. 今後の衣生活を考えよう	a. 現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために被服製作を通して、その技術と知識を身に着ける。 b. 実習したことより現代での衣生活の問題点や課題を考察することができる。 c.実習したことを自分の衣生活に活用することができる。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	C編 第1章 消費生活と経済生活	1．何をどうやって買う?	a: 現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解し、さまざまな契約についても，契約の重要性について理解することができる。 b. 消費生活の意思決定と契約について考察しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	
	C編 第1章 消費生活と経済生活	1. 消費者の権利と責任を考えよう 2. 社会経済につながる家計とは?	a. 消費者には権利と責任があることを理解し、消費者問題を予防し適切に対応できるよう，消費者保護制度について理解することができる。 b. 消費者の権利と責任の変遷を踏まえて，どうすれば消費者市民社会が実現できるか考察することができる。 c. どうすれば消費者市民社会が実現できるか考え実践しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	第2章 持続可能なライフスタイルと環境	1、未来の環境は大丈夫? 2. 持続可能な消費行動とは	b. 持続可能な社会を構築するために，持続可能な消費や生活について理解し，ライフスタイルを工夫することができる。 c. 一人の主体者として，社会全体をよりよい方向に動かしていこうとしている。		定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度